

実践者氏名	大平 芳慧 様	地 域	長野県長野市大岡
業種・業態	農業	生産品目等	水稻（ミルククイーン、あきたこまち）
LOAの導入時期	2008	LOA導入内訳	アースパワー、グランドバイオ、元付け

(報告者：春口 博二)

【LOA 導入前の問題・課題・状況】

1998年、旧大岡村長に当選した夫の嘉久雄さん(76)をサポートするために、それまで勤めていた会社を辞め、専業農家へ。カラオケなど多趣味多芸の芳慧さんは、“いっそのこと農業を趣味に“と思い、2001年から有機栽培を目指し始めた。

新聞や雑誌を参考に、そして、機会をみては県内外の講習会に参加。肥料にはワラや牛フン、鶏糞などを試してきた。化学肥料と違い、稲の生育が遅いため、ヒエが伸びて稲が見えなくなるくらいになった。それでも、“化学肥料や農薬は収量も上がるけど、味が落ちるから・・・”と妥協はしない。

【LOA 導入後の経緯・状況・結果】



◎LOA 資材の使用状況（栽培面積：1.4ヘクタール）

- ・LOA アースパワー : 2008年2袋(40kg)
2009年～1袋(20kg)
 - ・LOA グランドバイオ: 6袋(90kg)
(ウズラの糞の完熟堆肥) いずれも10a当り
 - ・精米機の電源に元付け用LOAを装着
- 他、良質の牛フン堆肥を約1トン

◎米・食味鑑定コンクール国際大会における受賞歴

- ・2008年度：部門金賞
- ・2009年度：部門金賞
- ・2011年度：総合金賞
- ・2012年度：部門金賞

◎取り上げられたメディア

- ・2009. 12月 : 信濃毎日新聞、日本農業新聞
- ・2010. 1月 : 読売新聞
- ・2011. 12月 : 長野市民新聞
- ・2012. 8月発刊：『作って楽しむ四季ごはん』
(横山タカ子著/信濃毎日新聞社)
- ・2012. 12月 : 長野朝日放送 (ABN)
- ・2013. 1月 : 長野市民新聞『ハンサムウーマン』

【考察・評価・今後の指標】※米も野菜もすべてにおいて最高級品を栽培されています。

“いいもの(物・人)との出会いには直感が働く。信じて、使ってみて、続けること。”
大平様との出会いは4年前の山形県南陽市で開催された『米・食味鑑定コンクール国際大会』の会場。同じ長野県の人同志が山形の地で偶然とは言えない出会いをしました。
作物が“水がほしい、草を刈ってほしい”と言っている。作物に応えると作物が喜んでい
る”“私のお米でみんなが笑顔になるのがとても嬉しい、感謝と笑顔が一番。”(大平語録)
これこそが、普段から環境エネルギーを貴めておられる篤農家。医食同源の実践者です。